

# 高陽縣志

一卷

人員

表

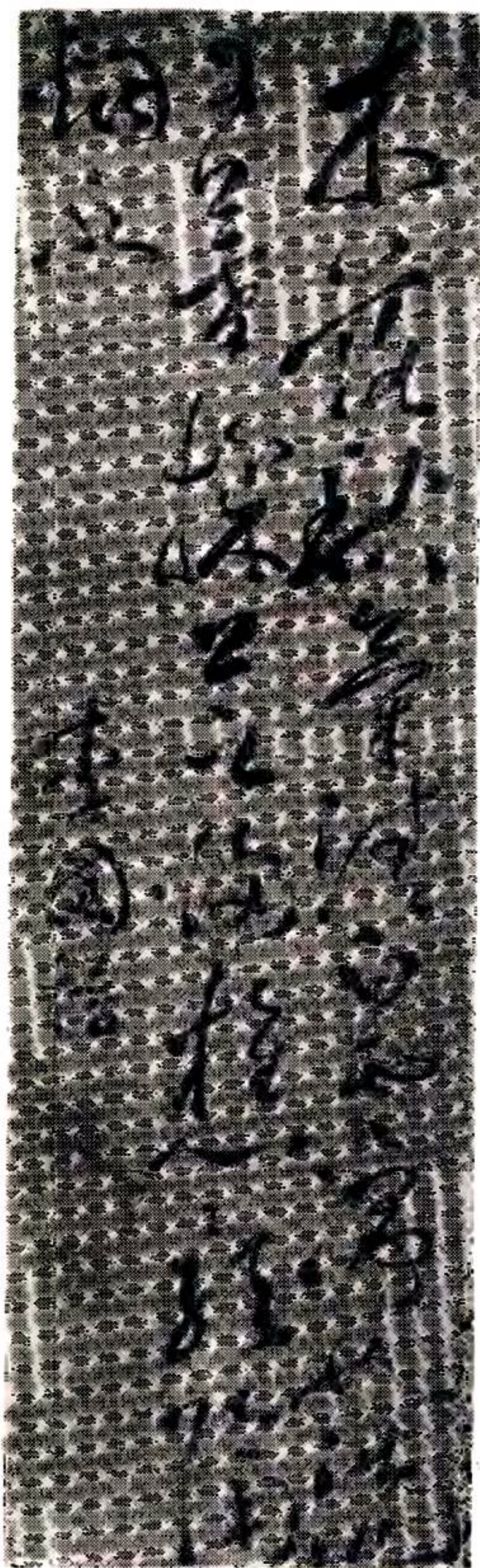
序

地疆目

理域錄

# 總監修縣長開原楊大寶

此碑係開原縣長楊大寶所立，碑文內容詳述其任職期間之政績與對地方建設之貢獻。碑文以繁體中文書寫，字跡清晰，佈局整齊。碑面中央有一處明顯之光斑，可能為攝影時之反光所致。碑文內容包括對地方教育、經濟發展及民生改善之描述，並提及楊大寶之個人事蹟與對地方之承諾。碑文之末尾部分，通常會包含立碑日期及相關人員之簽名。此碑之存在，不僅是楊大寶個人事蹟之見證，亦是開原縣歷史發展之重要紀錄。



李文敏公墨蹟

明創修縣志孫正文公承宗遺像



香齋軒漫錄



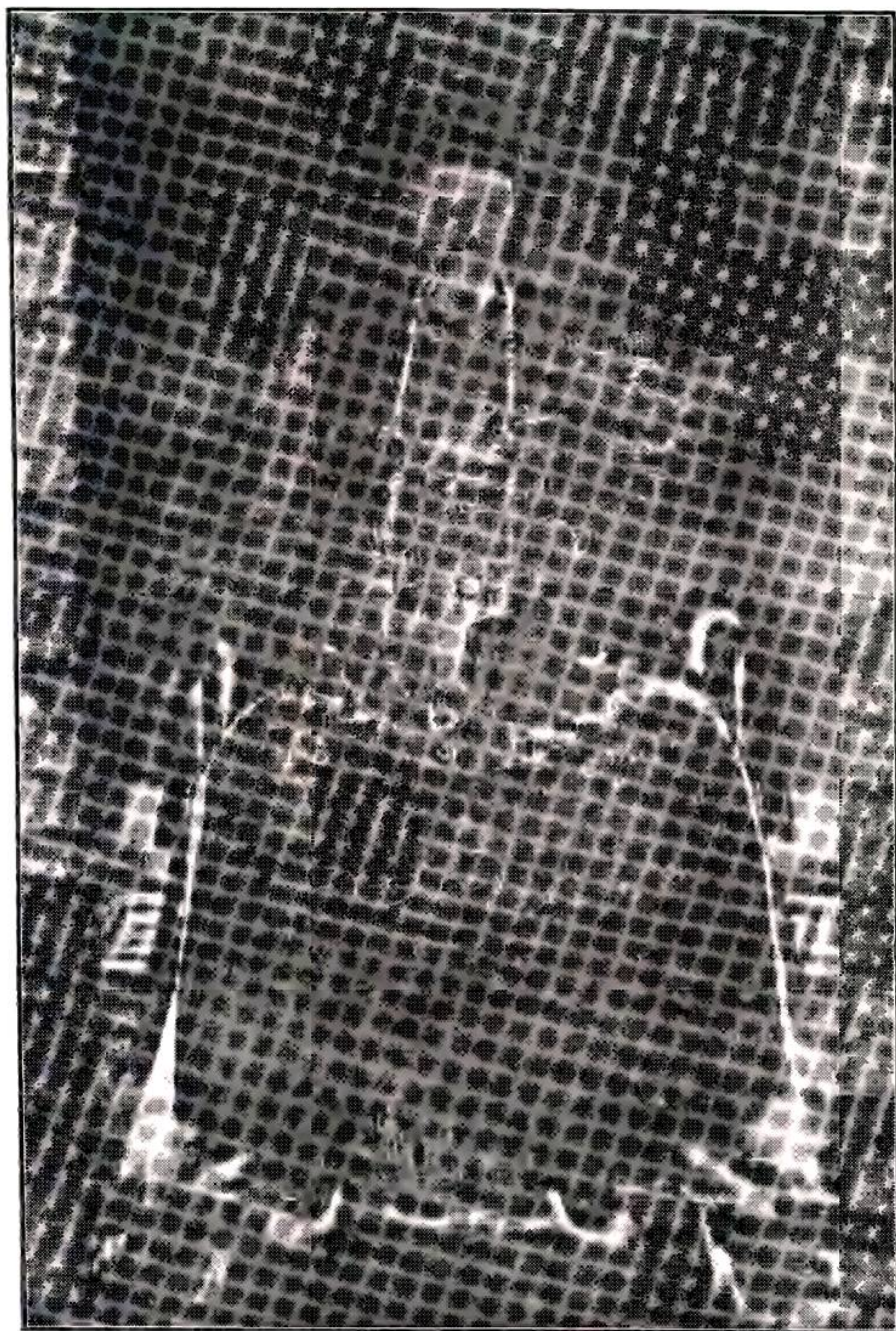
作詩必以巧選以拙成故作字惟拙其最難作詩  
惟拙句最難至特拙則渾然天全上巧不始言矣古人  
拙句曾佳枯瘦出如池塘生春草春草綠黃上合澄江  
如練空梁落燕泥清暉能娛人將子瞻題蘇東坡  
流子夜宮心悲未央明月入高樓流雲下徘徊乘舟  
下流然見南山若此之類固已多矣其以杜陵言之如西邊  
山木合於夜子規啼野人將獨眠雲木晚相然喜與  
多屋守年不盡雲山在空帶早起是關領年豐若  
無青暉月枯然白頭人百拜渾詩詩一月不梳頭

一徑野花落孤村春水生此五言之拙者春水如天  
上坐老年衣似霧中看遠地云何猶想使君居一塵太  
夫人竹葉於人既無不謂其拙也然其拙亦非外無  
窮事且蓋生新有似至者清遠通于春而毛氣渾如  
百合香秋水鏡深四五尺野鳥驚鴉恰受雨三人酒清尋  
行家有入生七十古來新此六言之拙者也他如  
舉可以難雜杜陵有云用拙者善道夫拙之所  
在道之所存也詩文獨好是也

香齋軒漫錄下此川風內看潮生浪書其初或身其  
香齋軒漫錄下此川風內看潮生浪書其初或身其

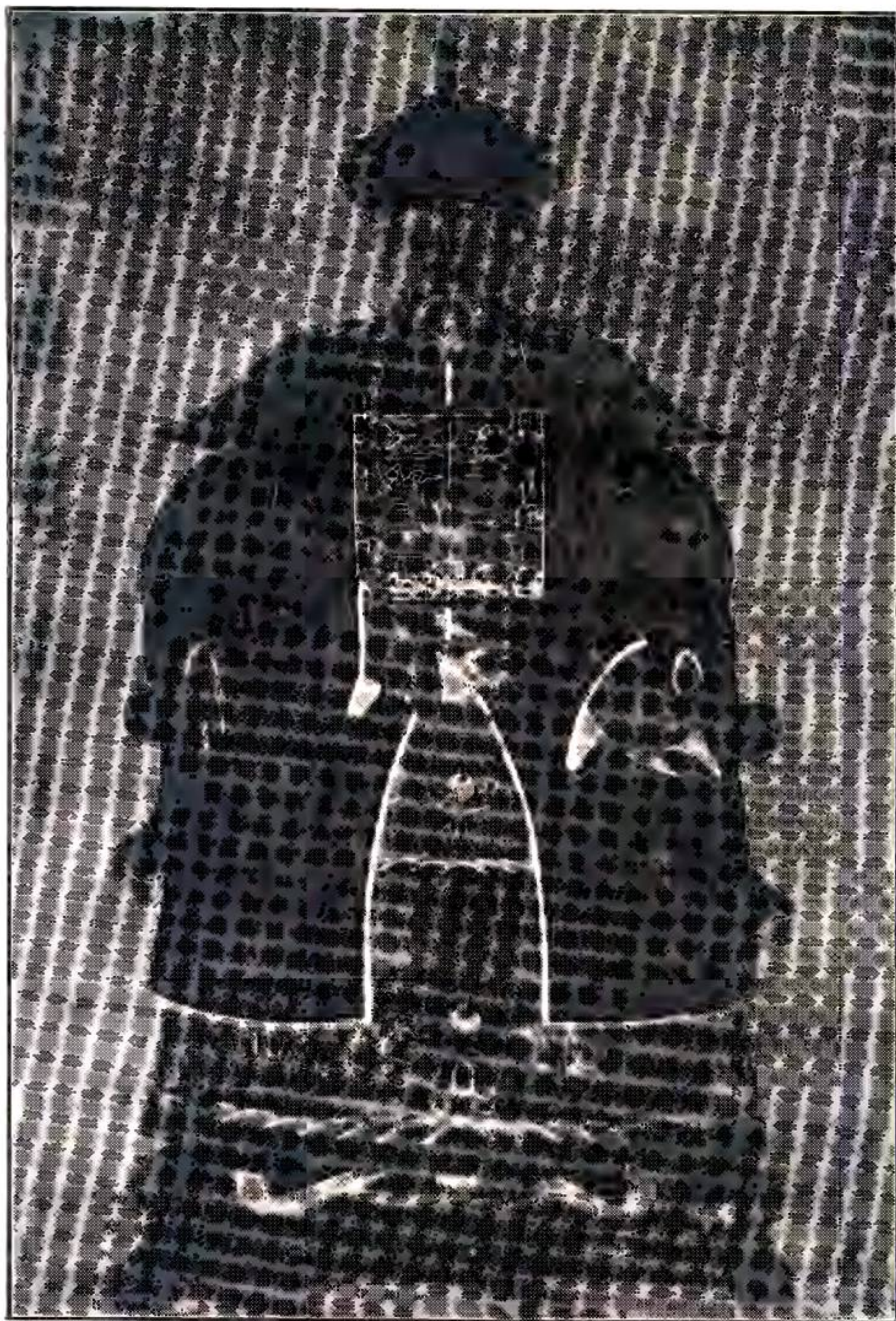
李 性 軒 先 生 墨 蹟

清康熙八年續修縣志李文勤公遺像

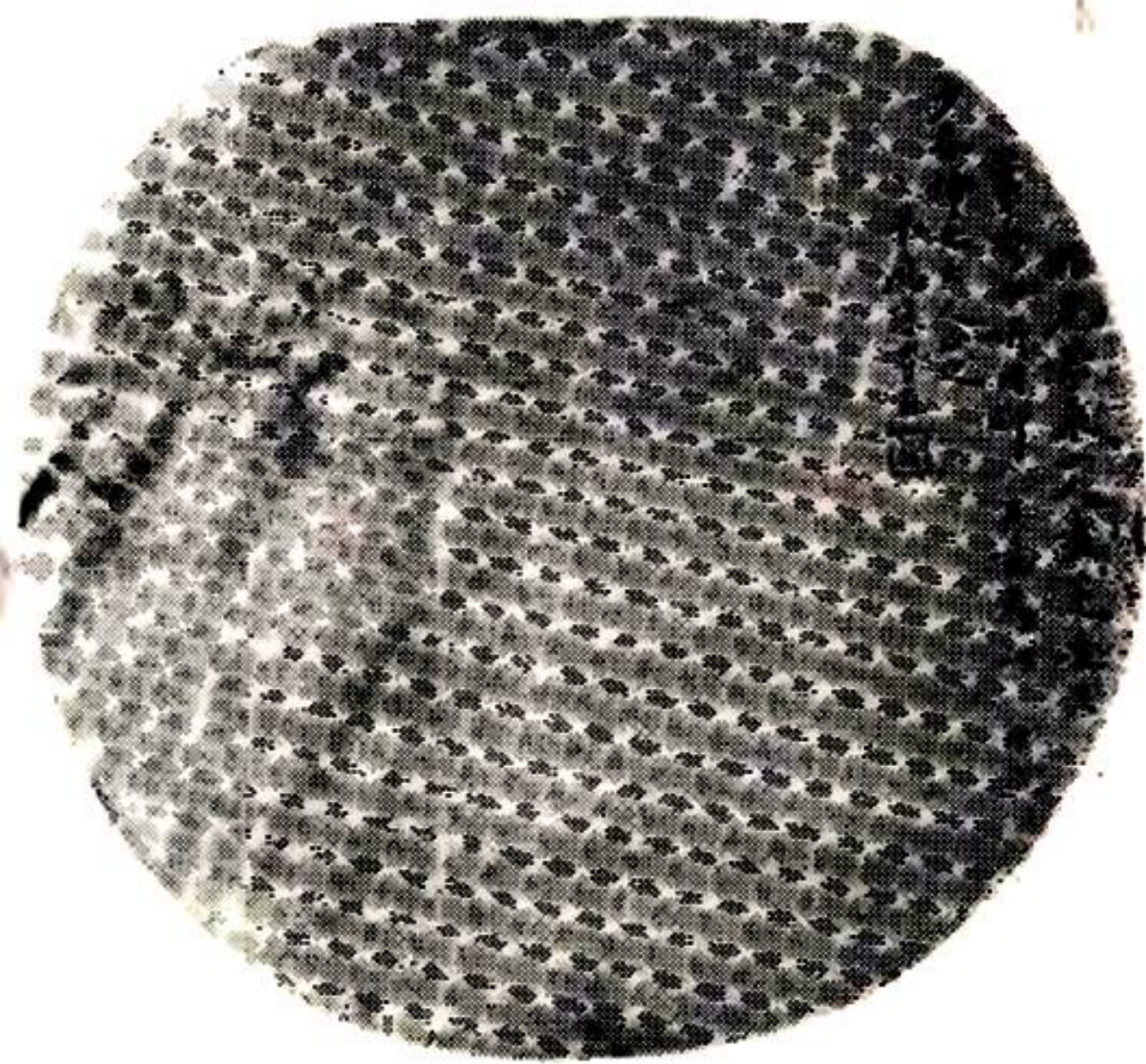
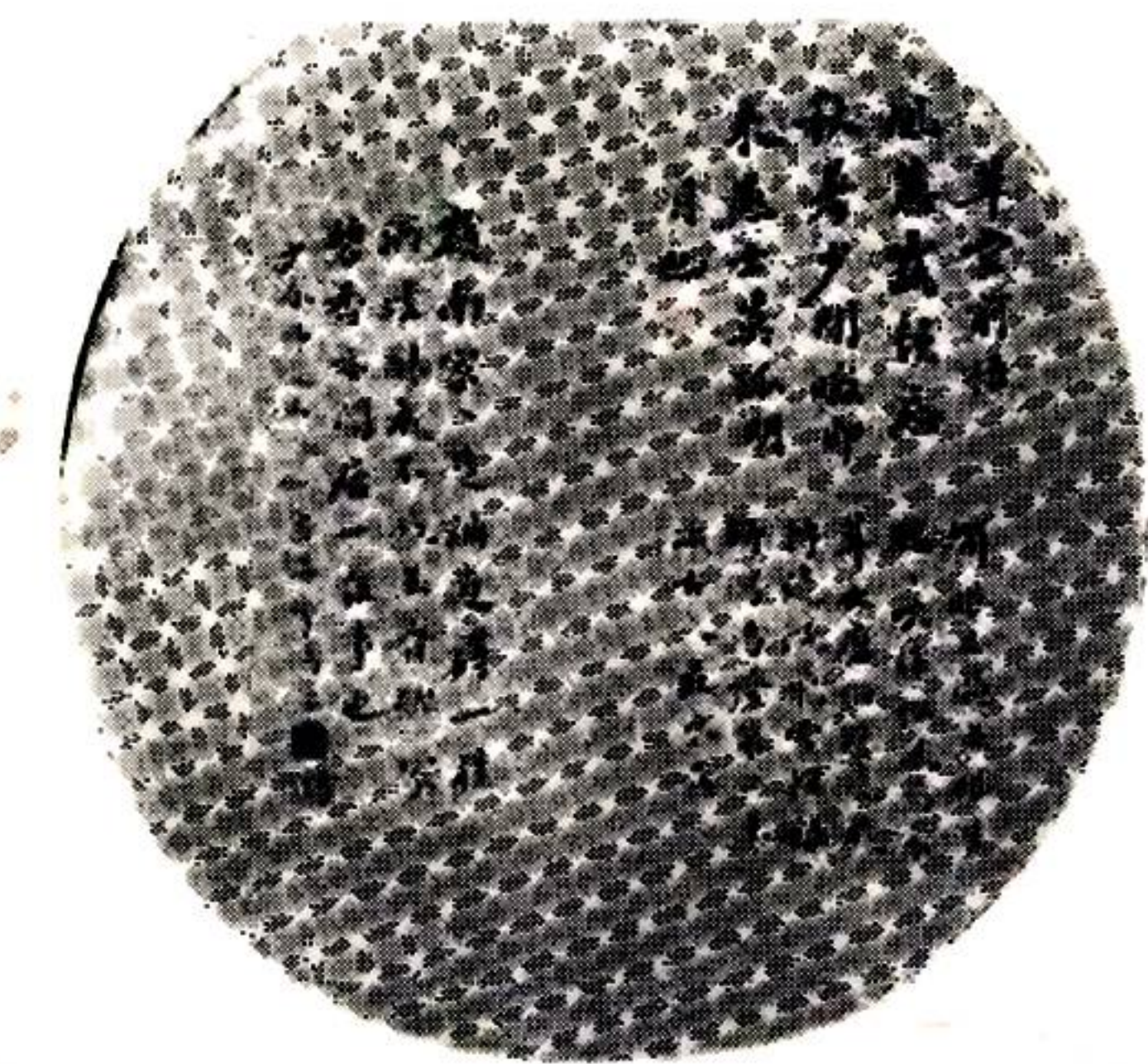




清雍正八年續修縣志李先其旋遺像



李文正公書畫



清李肅文公殿遺像



李文肅公墨蹟  
 卷之八  
 此卷係別上... 約素... 秀... 結... 骨... 珠... 以... 耀... 軀... 跡... 遠... 遊... 之... 文... 履... 或... 齊... 教... 之...  
 微... 蘭... 之... 芳... 馮... 分... 步... 踏... 踏... 於... 山... 隅... 於... 神... 游... 兮... 夫... 滿... 瀟... 之...  
 嬉... 左... 倚... 采... 旄... 右... 蔭... 桂... 旗... 標... 皓... 腕... 于... 神... 游... 兮... 夫... 滿... 瀟... 之...  
 余... 情... 况... 其... 泚... 美... 兮... 心... 振... 湧... 而... 不... 怡... 無... 復... 錄... 於... 此... 矣...  
 波... 而... 通... 幸... 願... 滿... 素... 之... 先... 達... 兮... 結... 一... 何... 以... 要... 之... 嗟...  
 備... 考... 不... 習... 禮... 而... 明... 詩... 抗... 操... 瑜... 瑜... 亦... 可... 兮... 指... 者... 謂... 之...  
 卷... 之... 妙... 所... 之... 我... 歎... 感... 前... 之... 景... 言...  
 不... 被... 狀... 抑... 志... 分... 中... 以... 自... 在... 矣...  
 今... 年... 陰... 有... 陽... 林... 舞... 軀... 之... 軀... 立... 若... 持...  
 乃... 衆... 靈... 雜... 運... 命... 呼... 嘯... 侶... 或... 載... 清... 派... 以... 永... 矣...  
 者... 或... 若... 明... 珠... 或... 拾... 翠... 羽... 矣...

李 文 肅 公 墨 蹟

清李正文公鴻藻遺像



李正文公墨蹟

李正文公墨蹟

陸軍上將民國政府委員孫君禹行遺像



# 陸軍上將國民政府委員孫禹君公行葬墓志

陸軍上將國民政府委員孫禹君公行葬墓志

滄縣張繼撰文 高陽崔其樞篆蓋 吳興沈尹默書丹

帝運至有清而窮我先總理孫公倡大義於天下四方豪傑聞風並起蓋  
趙古樞多慷慨悲歌之士側視虜廷人切同仇之氣於是受命會盟贊襄  
捷伐得文武同志數十輩久而益收遂以歷從履清室克素氏暨一切保  
除盜竊諸役其中文武兼資勤勞卓著則莫不推

禹行孫君君於辛亥革命卒師次江江北為前驅甲子禧育氏於故都則及  
正之衆建國民軍乙丑返軍於今河北省驅寇牧民用恭事負公決制開  
新省府三舉而明三義海內傾動今歲國民政府統一君先率渡上河北  
肅清君不以見政府方欲倚君親北方事君不及為此吾輩內外所為同  
聲悼歎者也君諱岳明故督師高陽文正公九世孫文正擊胡珣國忠烈  
曾辛後裔待時復仇其世志也少而傷世憤時憫憤不甯及庚世亂校  
教軍學於保定君以為及時奮身投籍學成登進除事結納辛亥之役君

佐戎吉林未及有為為敵覺片去脫身而南旋以改革中國非從北方入  
手不可乃輟轉依舊氏養晦十年始得憑藉方其與敵狎履日臨危毅君  
夷然不以為意故六重君區區未卒虞君大勇無畏惟君有之君之長者  
府統餉軍十萬終不違道取財財至先以餉友軍終不私己所用屬吏皆

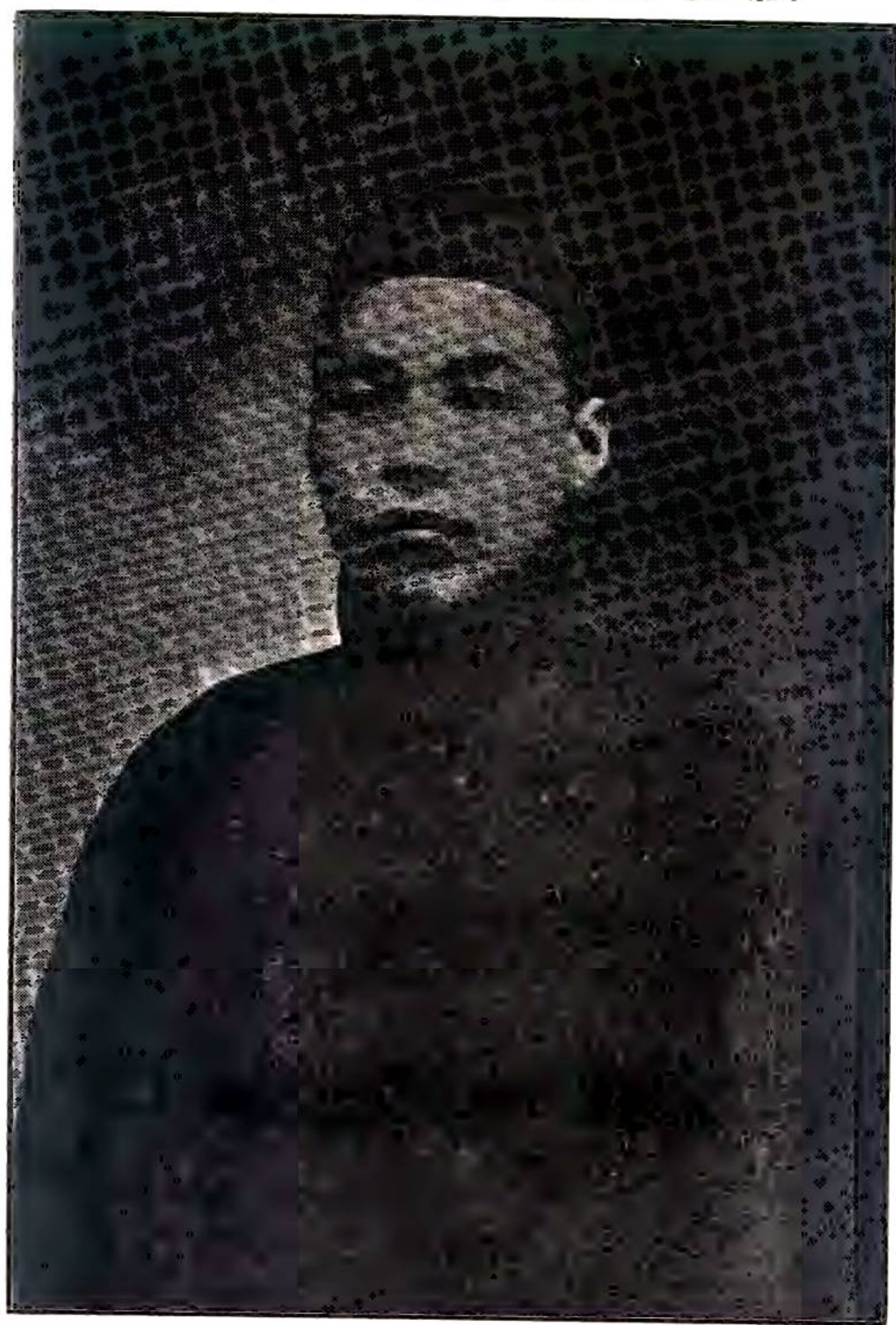
樞直動應之士能信於民雖為期三月斷斷備嘗其治績前未有也國民  
軍之紕於南口君遂舍兵憂患流離奮疾日萬囊議較君勞苦以樞密處  
君終焉盡瘁病革之際肅容對客陽陽如平生君既不事索人生產身後

蕩然同志等乃迎君柩北平公奠君於溫泉山下請諸省政府為闢墓園  
得地八十餘畝余時以政治分會事滯留北平得會葬君墓石之文餘以  
命余念與君同籍而又同志表隴題阡責又奚詳爰託文字畢君大事所

幸渠曾黃壤壽不朽之國士尤賴青瑛白砥留無盡之功名君生於光緒  
四年其卒以中華民國十七年五月二十七日年五十一其葬以十七年  
十二月二十五日君之祖曰良才妣林氏父曰邁唐妣田氏兄一人弟二  
人妻梁氏無所出繼妻張氏生子白珩生女白琨又繼妻崔氏亦無所出  
序君事狀例得備書

中華民國十七年十二月一日

續修縣志李曉冷先生像



修志人員表 民國二十年七月

職別	姓名	別號	年歲	籍貫	資格
監修	李大木	培元	五十	樂亭	天津北洋大學畢業
纂修	李曉冷	瀑泉	五十二	高陽	清附生天津北洋大學畢業
纂修	蘇震	朗東	六十一	高陽	光緒甲午舉人保定高等警察畢業
纂修	王兆臨	肖莊	六十二	高陽	光緒甲午舉人保定北關師範畢業
纂修	王璞真	實甫	六十	高陽	清廩貢生天津北洋師範專修科畢業
纂修	韓念真	念真	三十六	高陽	黑龍江警官傳習所畢業
收掌	韓振之	玉亭	三十六	高陽	本縣農業學校畢業
採訪	李敬三	敬三	二十五	高陽	河北省立民衆教育人員養成所畢業
採訪	李名園	東橋	三十六	高陽	北京大學畢業
採訪	張玉田		二十三	高陽	本縣高級小學畢業
採訪	李樹德		三十八	高陽	本縣高級小學畢業
採訪	張新型	鑑古	二十六	高陽	本縣初級中學畢業
書記	李葆貞	葆貞	二十六	清苑	保定育德中學畢業
書記	李長亮	庶熙	二十三	高陽	本縣高級小學畢業
書記	魏葆芬	蔭芳	二十二	高陽	本縣農業學校畢業

高陽縣志 卷一 人員表